

「コミュニティのつながりから 新たな波をつかんでいこう」 地域単位で足元の財を活かし需要づくりの連鎖を

長引く旅行停滞期にあっても旅の新潮流は着実に動き始めています。その中にチャンスを見出し、静岡県が取り組むべきマーケティング戦略についてTSJ府川尚弘ディレクターに聞きました。



静岡県ならではの自然環境や伝統文化、交通アクセスの良さ等を背景に、セルフドライブ/バンライフやサイクリング、伝統文化体験、キャンプなど多様なコミュニティツーリズムの可能性が広がる。

一引き続き感染症への注意が強く求められる社会状況ですが、TSJの戦略的取組みはどうなりますか。

世界的な感染症の拡大と長期化により、旅行市場は大きく混乱しています。しかし、国内外を問わず人々は常に旅を求めていることも様々な形で感じ取れます。そうした社会状況の中で、新しい旅のスタイルが求められています。そのニーズに合った旅と感動を旅行者と地域の双方に提供することがTSJの役割の一つでもあります。

ユニーク、健康、ウェルネス、自然、エコに加えて今後は、サステナブル、レスポンス、マインドフルネスなどのコンセプトが市場からさらに求められてい

ますので、同時に静岡県ならではの自然環境や交通利便性などの好条件を活かし、衛生面や安心感も兼ね備えた「静岡滞在型コミュニティツーリズムスタイル」の旅を提案していきたいと考えています。

一その新しい旅のスタイルについて具体的に教えてください。

世界的に健康と健康的な生活への関心は一層高まっています。特に生活水準や知的好奇心等が高い層では、長寿社会において心身ともに健康で充実した一生を送ることにさらなる注目が集まっています。

新しい旅のスタイルとして、身も心も快適な滞在に加えて、静岡県のお茶やみかん、わさび、海産物などの

地産食材や日本伝統の食生活、地域のライフスタイルを旅に織り交ぜた企画を仕立てていきます。特に、静岡県の農山村漁村には健康長寿の秘訣、「Ikiga(生きがい)」を実感できるコミュニティが数多くあります。シニアが活躍し、次世代の家族が伝統を紡いでいる日本の寄り添い支え合う地域生活の中に身を置くことで、「地域に生きるよこび」を肌で感じることが出来ます。まさに国際的に話題となっている健康長寿と地域コミュニティのつながりといった「日本の本質」を体感し、自分自身を成長させる旅が可能となります。

一受け入れる側はどのように取り組めばよいでしょうか。

これからは地域側としても、より高付加価値の旅を求める客層をしっかりと捕まえていくことが肝要です。例えば、海外では日本以上にリモートワークやワーケーションに慣れている人が多いです。インターネット環境が整備された安心・快適な地への旅となれば、静岡県はインバウンドワーケーションにも最適な条件が揃っているといえます。周遊型の旅から拠点型の旅へのシフト、そして新しい社会様式と旅のニーズを満たす静岡県の素材を、国内外の旅行市場の期待を超えるパッケージとして提供することを目指すべきです。

TSJでは地域の方々と「Shizuoka Tea with」をはじめ、「地産地消Farm-to-Table」「キャンプ」「サイクリングツアー」「セルフドライブ/バンライフ」「Bleisure/リモートワーク滞在」など、静岡県ならではの財を活かすプログラムを多様に準備してきています。

一まずは地域コミュニティが足元の財を活かすことが肝要だと。

ニューノーマルやマイクロツーリズムなど、新たな波に対応する要素を静岡県に見合った形にきちんと仕立て戦略的に展開・実践することで、国内、海外共に旅行需要をつくる事ができます。

コミュニティの魅力を地域の方が認識し、地域内需要から盛り上げることが基本であり、その盛り上がりから県外・海外からの旅行者を惹きつける魅力となります。混沌とした今だからこそ、パートナーシップ拡大、需要づくり、ビジネス化をしっかりと地域と市場でマーケティング展開することが地域と旅の未来をつくります。

TSJ 戦略パートナーに聞く「私が考える新しい旅のスタイル」



加藤弘一朗氏
 (株)時之栖
 営業部長

オープンエアプログラムに注目

昨今のオンラインコミュニケーションの活発化に伴い、逆に人と人との接点をどうプロデュースしていくかが重要になると考えています。

富士山周辺では、オープンエアでの体験が注目されます。グランピングやテントサイトも周辺のキャンプ場を含め需要は高まる一方。付帯するBBQや自然体験、農業体験なども同様に受け入れられていくと見ています。

小単位で移動できる自転車を利用した新たなサービスも興味深いです。静岡県の東部地域が自転車のオリンピックコースに含まれていることもあり、プロチームの誘致や大会の開催など熱の高まりを感じています。ライドツアーや宿泊バックなどの動きも目立ってきており、これも価格とニーズがさらにマッチしてくれば、さらに受け入れられていくと考えています。



アダム・コペイン氏
 ライドジャパン(旅行会社)
 ディレクター

静岡県はサイクリストの天国

ライドジャパンは、日本の素晴らしい田園地帯とそこをつなぐ道路、そして文化に対する強い思いを外国のサイクリストと共有したいということで始めました。サイクルツーリストにとっては、例えば富士山や伊豆半島の美しい海岸道路を走ることはとても感動的な体験となりますが、それだけではありません。静岡県にはサイクリストたちが興味を持つ様々な楽しみ方のオプションがあります。私たちはそうした魅力的なテーマに合わせてツアー商品を企画し、最高の体験を提供しています。

訪日旅行者は、日本に生まれ育った人々とは大きく異なる視点で日本を見ており、時には地元の人々にとって平凡なものも魅力的に感じます。特別な何かを提供するのではなく、他国からの人を温かい気持ちで迎え、ありのままの暮らしを共有すればよいのです。



タイソン・ファア氏
 ドリームドライブ(旅行会社)
 クリエイティブディレクター

脱都会志向のExpatにフォーカス

私たちは、快適に過ごせるキャンピングカーのレンタルサービスを通して、日本の新しい旅のスタイルを提案している会社です。

静岡県は、東京からアクセスしやすい場所であるだけでなく、一年を通じて様々な風景やアクティビティが堪能できます。美しい自然とキャンプ場、富士山の景観、ハイキングなどにフォーカスして楽しむことは、都会生活から離れた海外出身の家族やカップル、仲間同士にとって魅力的です。

多くの外国人駐在員層は、体験や行先にこだわるだけでなく、旅の最初から最後までに関わる細やかなサポートや具体的で役に立つ情報の提供を必要としています。これは大事なポイントです。

観光コンテンツの企画・準備は、日本在住の海外出身者のコミュニティに役立つだけでなく、需要の回復後、訪日旅行者にとって価値をもたらすこととなります。



アン・カイル氏(左)
 ローレン・シャンオン氏
 ありがとうジャパン・
 フードツアーズ

地元の人や文化とつながる旅を

この社会状況にあって旅行者は、より安全性に関心を持つと同時に、ゴールデンルートに留まらない、混雑を避けた旅をしたいと考えています。脱都会的なスポットが注目を浴びる好機になるでしょう。

静岡県は、歴史と自然の美しさに富み、アクセスも容易で、訪日旅行者のための素晴らしい旅先です。食文化も豊かで緑茶をはじめ、うなぎ、地元のB級グルメ、おいしい果物や野菜、極上の日本酒などが楽しめます。

今後の旅の鍵は、観光客がもつと地元の人々とつながり、ゆったりと本当の文化に触れられる体験を提供することだと思います。さらには、自分で何かを創るといったアート関連の旅にも興味があります。

今後は、複数の地域や町、都市、田舎を結び、地元の人々と交流を図れる旅が求められると思います。

Explore Shizuoka

キャンプカーで美しい日本を旅してみませんか？

しずおか

Dream Driveは"Hotel room on wheels"をコンセプトに独自にカスタムビルドしたキャンパーレンタルサービスです。

ご予約はリンクへ。

www.dreamdrive.life/jp



DREAM DRIVE

